

# 注 意 報

農技セ第4530号  
平成25年11月5日

各関係機関長 殿  
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長  
(公印省略)

平成25年度農作物病害虫発生予察情報について

平成25年度農作物病害虫発生予察注意報第6号を発表したので送付します。

平成25年度病害虫発生予察注意報第6号

平成25年11月5日  
徳 島 県

10月後半の巡回調査において、ミナミキイロアザミウマの発生が平年よりやや多く、また向こう1か月の天気は平年と同様に晴れの日が多いと予想されていることから、今後も発生が増加し多発生が懸念されますので、注意報を発令します。

現地においては発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いします。

作物名：冬春ナス  
病害虫名：ミナミキイロアザミウマ

1. 発生地域 県下全域
2. 発生時期 11月～
3. 発生程度 中～多(前年並, 平年よりやや多い)
4. 注意報発令の根拠
  - (1) 10月後半の巡回調査では、発生圃場率が85.7%、寄生葉率が47.7%と被害果率が10.9%であり、平年(68.0%, 11.4%, 0.6%)と比べてやや高めの発生である。
  - (2) 高松地方气象台が11月1日に発表した1か月予報では、天気は平年と同様に晴れの日が多いと見込まれている。また、気温、降水量、日照時間ともに平年並と予想されており、やや発生助長的な気象条件である。
5. 防除法等
  - (1) 多発生後は防除が困難となるので、ルーペや虫眼鏡等を用いて圃場全体をよく観察し、発生を確認したら直ちに防除を行う。
  - (2) 本虫は花及び新葉に集中したり、葉裏や葉の重なった部分等集まる習性があるので、それらの部分に薬剤が十分かかるように丁寧に散布する。
  - (3) 薬剤抵抗性の発達を避けるために、同一系統薬剤の連続散布を控え、系統の異なる薬剤を輪番で使用する。
  - (4) その他、防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。



ミナミキイロアザミウマ成虫



ミナミキイロアザミウマによるナスの被害果